

大田原市役所 令和4年度冬季の節電結果について

生活環境課環境保全係

1 各施設の最大需要電力及び使用電力量

「大田原市役所節電エコオフィス取組方針」の対象施設のうち、過年度との比較が可能な施設の令和4年度冬季の最大需要電力は3,305kW、使用電力量は2,167,749kWhでした。両値ともに平成25年度（基準年度）と比べると増加しましたが、前年度と比べると減少しました。

今期は1月26日（木）の最低気温がマイナス16.4℃を記録し、観測史上最低気温を更新しましたが、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多く、2月、3月は前年度と比べて温暖な気候となりました。上記の気候によって暖房の使用頻度が減ったことと、電気代高騰による節電意識の高まりにより、前年度比で最大需要電力及び使用電力量が減少したものと考えられます。

なお、最大需要電力については、毎年、昨年度の最大需要電力の97%を今年度の目標値として設定していますが、施設によっては下限値に近い箇所もあるため、施設の使用状況も考慮しながら設定いたします。

■冬季の最大需要電力等

項目	H25 (2013)	R3 (2021)		R4 (2022)		
	実績値	実績値	H25 比	実績値	H25 比	前年度比
最大需要電力	3,094kW	3,522kW	113.8%	3,305kW	106.8%	93.8%
使用電力量	1,974,133kWh	2,331,825kWh	111.1%	2,167,749kWh	109.8%	93.0%

大田原市の日平均最低気温、最低気温及び冬日日数（気象庁HPより）

年度	12月			1月			2月			3月		
	平均最低	最低気温	冬日	平均最低	最低気温	冬日	平均最低	最低気温	冬日	平均最低	最低気温	冬日
H25(2013)	-2.3℃	-6.6℃	25日	-5.2℃	-8.2℃	31日	-3.1℃	-9.9℃	26日	0.1℃	-5.0℃	15日
H26(2014)	-2.7℃	-8.8℃	29日	-2.3℃	-7.2℃	24日	-2.3℃	-7.7℃	20日	-0.1℃	-5.5℃	18日
H27(2015)	0.1℃	-5.8℃	18日	-4.3℃	-8.5℃	29日	-2.4℃	-7.3℃	21日	1.1℃	-6.5℃	10日
H28(2016)	-1.2℃	-6.7℃	22日	-4.1℃	-8.7℃	28日	-3.2℃	-7.5℃	25日	-0.9℃	-6.7℃	20日
H29(2017)	-3.1℃	-6.8℃	29日	-5.2℃	-11.4℃	28日	-4.6℃	-9.1℃	28日	0.9℃	-3.5℃	10日
H30(2018)	-0.8℃	-6.2℃	19日	-4.6℃	-8.6℃	28日	-3.2℃	-9.3℃	22日	0.7℃	-5.8℃	13日
R1(2019)	-0.9℃	-5.5℃	20日	-1.0℃	-5.4℃	21日	-1.3℃	-9.8℃	20日	1.7℃	-2.1℃	11日
R2(2020)	-2.4℃	-6.3℃	25日	-4.3℃	-10.3℃	27日	-3.5℃	-8.1℃	26日	2.9℃	-5.4℃	9日
R3(2021)	-1.2℃	-7.1℃	20日	-4.0℃	-7.8℃	29日	-4.3℃	-7.3℃	27日	1.0℃	-5.0℃	12日
R4(2022)	-2.2℃	-6.8℃	25日	-4.2℃	-16.4℃	29日	-2.9℃	-8.1℃	22日	2.7℃	-4.2℃	9日

※2023年1月の最低気温（-16.4℃）がアメダス大田原観測所史上最低気温

2 主な庁舎の最大需要電力及び使用電力量

本庁舎を含めた主な4庁舎の令和4年度冬季の最大需要電力合計値は761kWであり、平成25年度比で128.3%の増加、前年度比で1.6%の増加という結果となりました。また、令和4年度冬季の使用電力量合計値は542,057kWhであり、平成25年度比で133.4%の増加、前年度比で3.2%の減少となりました。平成25年度比での大幅な増加は、本庁舎を加えたことによるものです。

本庁舎を除く下記の主な3庁舎では、平成25年度（黒羽庁舎は平成23年度）から使用電力量の抑制に努めています。湯津上庁舎は最大需要電力及び使用電力量ともに、平成25年度比及び前年度比において、減少となりました。黒羽庁舎では、昨年度は業務上必要な電力まで抑制していたため、今年度緩和した結果、最大需要電力量、使用電力量ともに増加しました。

来庁者や職員の体調も考慮しながら、今後も引き続き、全庁舎で節電に努めていきたいと考えます。

【最大需要電力（kW）】

庁舎名	H25（2013）	R3（2021）		R4（2022）		
	実績値	実績値	H25比	実績値	H25比	前年度比
本庁舎	—	490	—	497	—	101.4%
仮設庁舎	137	135	98.5%	140	102.2%	103.7%
湯津上庁舎	149	91	61.1%	86	57.7%	94.5%
黒羽庁舎	42	33	78.6%	38	90.5%	115.2%
計	328	749	228.3%	761	232.0%	101.6%

【使用電力量（kWh）】

庁舎名	H25（2013）	R3（2021）		R4（2022）		
	実績値	実績値	H25比	実績値	H25比	前年度比
本庁舎	—	376,710	—	364,941	—	96.9%
仮設庁舎	84,403	83,957	99.5%	78,592	93.1%	93.6%
湯津上庁舎	107,411	68,820	64.1%	67,949	63.3%	98.7%
黒羽庁舎	40,462	30,378	75.1%	30,575	75.6%	100.6%
計	232,276	559,865	+134.4%	542,057	233.4%	96.8%

3 大田原市役所節電エコオフィス取組方針における取組目標

「大田原市役所節電エコオフィス取組方針」では、最大需要電力及び使用電力量ともに前年同月の実績値を超えないことを目標としていますが、各施設の状況は下表のとおりであり、目標を達成した施設は53施設中31施設でした（表の黄色セル部分）。なお、貸館業務を行っている施設の場合、節電結果の評価にあたっては施設の利用頻度・状況も考慮する必要があります。

市長部局・教育委員会施設			小中学校		
施設名	最大需要電力 削減率 (%)	電力使用量 削減率 (%)	施設名	最大需要電力 削減率 (%)	電力使用量 削減率 (%)
本庁舎	1.4	▲ 3.1	大田原小学校	▲ 11.7	▲ 4.2
仮設庁舎	3.7	▲ 6.4	西原小学校	▲ 59.9	▲ 12.3
湯津上庁舎	▲ 5.5	▲ 1.3	紫塚小学校	▲ 4.3	6.9
黒羽庁舎	15.2	0.6	親園小学校	▲ 4.9	▲ 0.7
総合文化会館・東別館	▲ 17.3	▲ 11.9	宇田川小学校	20.7	5.4
両郷出張所	▲ 27.3	▲ 6.4	市野沢小学校	6.4	1.8
しんとみ保育園	▲ 5.8	▲ 30.9	奥沢小学校	▲ 14.3	▲ 6.7
学校給食センター	6.3	12.1	金丸小学校	2.2	▲ 15.2
大田原東地区公民館	▲ 15.0	▲ 6.8	羽田小学校	6.3	▲ 5.4
金田北地区公民館	8.0	3.7	薄葉小学校	▲ 11.3	▲ 8.4
親園地区公民館	5.0	22.7	石上小学校	▲ 20.3	▲ 7.9
野崎地区公民館	0.0	▲ 1.7	佐久山小学校	7.9	0.5
風土記の丘湯津上資料館	2.6	▲ 0.9	佐良土小学校	▲ 2.9	2.9
那須与一伝承館	▲ 5.9	▲ 9.5	湯津上小学校	▲ 8.8	▲ 1.4
黒羽芭蕉の館	▲ 16.2	▲ 4.2	蛭田小学校	3.3	▲ 1.3
ピアートホール	14.9	5.4	黒羽小学校	▲ 3.4	2.2
県北体育館	▲ 15.7	▲ 2.4	川西小学校	3.1	14.5
須賀川出張所	0.0	▲ 6.1	須賀川小学校	▲ 16.9	▲ 28.0
すさぎ保育園	0.0	▲ 15.7	両郷中央小学校	▲ 29.0	▲ 14.1
消費生活センター	0.0	▲ 9.2	大田原中学校	1.0	2.7
大田原補修基地	0.0	▲ 0.5	若草中学校	▲ 15.4	▲ 16.4
大志館すばる	0.0	▲ 5.1	親園中学校	▲ 30.4	▲ 22.3
金田南地区公民館	0.0	7.2	金田北中学校	▲ 37.5	▲ 28.9
佐久山地区公民館	0.0	▲ 1.5	金田南中学校	▲ 45.5	▲ 47.5
生涯学習センター	▲ 6.7	▲ 1.6	野崎中学校	▲ 2.2	▲ 18.8
大田原西地区公民館	▲ 22.9	▲ 0.1	湯津上中学校	13.3	▲ 23.2
			黒羽中学校	8.0	▲ 8.3

※削減率は前年度数値と比較したものの。

4 各課における節電取組状況

「大田原市役所節電エコオフィス取組方針」で定めた主な取組項目の実行率は以下のとおりです。エアコンフィルター清掃を除く項目の実行率は100%にほぼ近く、ほとんどの課・施設で実行することができました。フィルターが目詰まりしているエアコンでは暖房効率が低下し、無駄な電力を使うことで電気料金の増加にもつながりますので、引き続き定期的な清掃をお願いいたします。

項目	窓側照明の消灯	昼休み時の消灯	空調の室温管理	エアコンフィルターの清掃	空調機器の分散起動	OA機器の適正使用
実行率	100%	100%	100%	85.7%	100%	99.8%

5 電力料金

「大田原市役所節電エコオフィス取組方針」の対象施設の令和4年度冬季の電力料金は下表のとおりです。昨年度から続いているエネルギー価格の高騰により、電力量単価も大幅に値上がりしています。そのため、電力料金も前年度と比べて増加しています。エネルギー価格及び需給の今後の見通しは不透明なため、引き続き節電へのご協力をお願いいたします。

項目	H25 (2013)	R3 (2021)		R4 (2022)		
	実績値	実績値	H25比	実績値	H25比	前年度比
電力料金	52,853,032円	53,989,217円	102.1%	92,002,082円	174.1%	170.4%

(参考) 東京電力エナジーパートナー(株)の業務用電力料金単価の推移

年度	基本料金 (円/kW)	電力量単価 (円/kWh)				
		12月	1月	2月	3月	平均
H25	1,638.00	17.49	17.34	17.43	17.73	17.50
H26	1,684.80	18.90	18.98	19.20	19.47	19.14
H27	1,684.80	16.03	15.90	15.68	15.35	15.74
H28	1,684.80	13.78	13.89	14.13	14.44	14.06
H29	1,684.80	15.73	15.73	15.79	15.99	15.81
H30	1,684.80	18.06	18.34	18.63	18.72	18.44
R1	1,716.00	17.40	17.34	17.22	17.27	17.31
R2	1,716.00	14.52	14.34	14.36	14.68	14.48
R3	1,716.00	18.69	19.22	20.46	21.51	19.97
R4	1,716.00	31.34	32.37	28.92	27.62	30.06

6 今後の取組

経済産業省によると、令和5年度の東京電力管内の電力需給の見通しは、7月の予備率が3.0%となるなど、夏季を中心に依然として厳しい見通しであるとのこと。また、国際的なエネルギー価格の高騰も続いており、今後の先行きも不透明となっていることから、**令和5年度も引き続き節電への取組が重要となります。**

大田原市では、地球温暖化防止や経費削減を図るため、「大田原市役所節電エコオフィス取組方針」に基づき今後も組織的に節電に取り組みます。

なお、令和5年度夏季における節電の数値目標については、地球温暖化防止対策推進会議で決定することとします。